

「これは差別の始まりだ」と気づけるアンテナを張って生活できると世の中は少し良くなるかな…



**HERO**  
NEWS FROM 1-2

新発田市立七葉中学校  
1年2組学級便り  
平成29年12月1日  
No. 16  
文責 加藤育志

## 生徒会選挙運動が始まりました

次年度の生徒会のリーダーを決める、生徒会役員選挙が公示され、1年2組からはA・Nさんが副会長男子に立候補しました。Aさんの選挙運動をサポートすべく、責任者のA・Tさんを筆頭に、クラスのみみんなで協力して準備を進めました。まずはポスターやたすきの制作をし、今日からは朝の呼びかけも始まりました。そうやって立候補していない人も一人一人が選挙運動に関わることで、次のリーダーにふさわしい人を真剣に考え、中堅学年になる自覚が育ってくれればと願います。

また、R・Sさんが選挙管理委員になり、昼休みや放課後の時間を使って選挙運動を計画・運営してくれています。学年朝会のスピーチを紹介します。

### 選挙管理委員の決意

ぼくは選挙管理委員になりました。初めての選挙なのですが、全校の選挙がスムーズに行えるように頑張りたいです。選挙管理委員でのこれまでの活動は2・3年生がフォローしてくれたおかげでスムーズに行えました。次のリーダーを決める大事な選挙なので、責任をもって行いたいです。みなさんも生徒会の一員として、よく考えてふさわしい人を選んでください。



今日から登校時の7:40~8:00に呼びかけが始まりました。責任者のAさんとHさん、Kさんが一緒に立って呼びかけました。



ーさんとHさんとMさんがポスターを書いてくれました。

たすきはRさんとMさんが作ってくれました。



## << 同和教育の授業 >>

2学期は同和教育の授業に力を入れています。公開授業では小学校の先生からも参観に来ていただきました。授業の度に思うことは、「小学校からよく学んでいて、しっかり話し合いができる集団だな」ということ。授業を進める毎にひとりひとりの考えが深まっています。話し合いで出てきたみんなの気づきや意見を紹介します。(黒板いっぱいになりました)

### 差別が起こる時の共通点は？

- 正しくない知識や偏見をもっている。
- 自分たちとは違うという偏った見方。
- 加害者の数が多く、被害者の数が少ない。
- 周りがやっているから。
- 勝手な決めつけ（イメージ）。
- 自分のことしか考えていない。
- 相手の特徴を探し、それについて言ったり、問い続けたりすること。
- 理解不足。
- 自分勝手な解釈をする。
- 見た目で判断している。
- 予想してないことが起きた時。
- 集団での行動。
- 「自分と違う」「普通の人じゃない」と思ったとき。
- 判断力がない。
- 恐怖心。
- 特別な意識。

### どうしたら差別を防げるだろうか？

- 正しい知識をもつこと。噂に流されないようにしたり、思い込みで人を判断したりしないこと。その人が抱えている事情をしっかりと理解すること。
- 誰に対しても優しく接する。
- 見た目だけで判断しない。
- 多数派に流されずに根拠のある自分の意見を持つこと。
- 自分から「それは差別だ」と気づき、加害者にやめるように呼びかける。
- 一人一人が見ためだけの判断や下に見るなど、差別の原因となることを意識してなくす。
- 「みんながやっているから」「自分もやられそうだから」になる前に早い段階で見つけ、拡大を止める。相手の事情などを理解することに努める。
- 差別になりそうなことや話をしない。見下さず、みんな平等に接する。
- 自分のことだけでなく、人のことも考えて行動する。



自分の考えをワークシートにまとめ、小グループで話し合い、考えを深めました。さらにグループの考えをクラス全体で共有し、どんどん視点が広がっていきます。